

あかい新聞

わが町、わが店、この道一筋。出逢いとコミュニケーション あかい新聞店ホームページ <http://www.akai-shinbunten.net> <発行所>あかい新聞店 武豊店/知多郡武豊町字金下37番地 ☎<0569>72-0356 常滑店/常滑市市場町4丁目167番地 ☎<0569>35-2861

企画・制作：株式会社 新聞ビル



老春

ろうしゅんの
たわごと

戯言

巻頭言

№003 —上から目線て?—

日 本語も時代とともに変わる。古語文と現代文を比べてもまるつきり違う言語だと思ってしまう。最近はどこに若者を中心に簡略化した表現が多いことも確かで、それがいつのまにか標準語として定着していることも少なくない。外国人にとっては謙遜語や尊敬語の使い方が日本語を難しくしているとも聞く。

最近、気になったことに、上から目線の言葉遣いがある。いまままでと、でかい態度とか偉そうに言うことは、嫌だということとはわかる。会社でもヒラから上司に上がったとたん、いかにも偉くなったという話し方の人はいる。いずれにしてもコミュニケーション能力の問題であろう。

最近、気になった言葉に「ご苦労さま」と「お疲れさま」の違いが指摘される。中高年以上の人はおそらく、普通に「ご苦労さま」と言ってきたことが、それは上から目線の言い方だと言われる。だったら、どういう言い方がいいかと言えば、「お疲れさま」と言うのが正しいというのである。慣れるとなんでもないが、使い慣れていないと違和感を覚える。

テレビ等を見ていると、いまだに多くのひとが「ご苦労さま」と言っている。ところが、会社では「お疲れさま」という言い方に変わっている。タイムレコーダーの自動音声も「お疲れさま」である。下の者が上の人に「お疲れさま」というのは失礼だというのが、男女平等の時代は、言葉遣い一つとっても、難しい時代だ。

文・写真||岡田清治

FAX: 0569-34-7971
メール: hiromitsu@akai-shinbunten.net

読者の方々の感想、意見、コメント等を上記のFAXかメールでお寄せください。一緒に考えます

おかだ せいじ SEIJI OKADA 岡田 清治

1942年生まれジャーナリスト(編集プロダクション・NET108代表)
著書に『高野山開創千二百年 いっぱんさん行状記』『心の遺言』
『あなたは社員の全能力を引き出せますか!』『リオンで見た虹』など多数



戯言

私の出会った作品 (82) 杉本武之

◎生田春月
生田春月という大正時代の詩人について書きま

今から60年以上も前のことですが、大学生だった私は、京都の寺町の本屋で、題名に惹かれて『真実に生きる悩み』という角川文庫を買いました。定価は80円でした。これが生田春月という文学者との最初の出会いです。

25年後、再び生田春月に出会いました。今から30年ほど前のこと、日本のアウトサイダーたちのことを扱った『日本番外地の群像』(社会評論社)という本を家の近くの書店で買いました。その中で妻だった生田花世が書いた「生田春月―思い出の春月」が掲載されていて、私は非常に興味深く読みました。



『生田春月』

最近のことです。市の図書館で『作家が綴る心の手紙・死を想う』(二玄社)という本を見つけた。その中に、生田春月が投身自殺をする数時間前に船の中で書いた妻・花世に宛てた最後の手紙(遺書)が掲載されていました。私は興味を持って読みました。

し、同郷の先輩である評論家・生田長江宅の玄関番となった。ドイツ語の修得のために独語専修学校の夜学に1年間通った。大正3年(1914)、雑誌『青鞥』に掲載された

殺を遂げた。享年38。遺体は、6月11日に小豆島坂手港で発見された。

『真実に生きる悩み』私が大學生の時に読んだ『真実に生きる悩み』の一部を引用します。

『思い出の春月』妻の生田花世は、夫の投身自殺の翌年、雑誌『文学時代』2月号に「生田春月―思い出の春月」を發表しました。彼が「大きなアカチャン」だったことが分かります。

たの悪い夫であった。どうかこれまでの僕の弱点は許してもらいたい。今にして、僕はやはりあなたを愛している事を知った。さすれば幸福に

『私には孤独な人間であって、あまり賑やかな人間に出て行くのは好ましくないので、大抵家に引きこもって、屋根裏のような感じの狭い書齋で、静かに好きな本を読むとか、自分の書きたいことを書くとか、または、いろいろな小さな計画を立ててみるのか、そうしたことで、毎日の日を送っている。

『私たちがまた、その最後の線において、一死をも恐れないだけの覚悟、どこまでも徹底的に歩いて行つてみたいと思う。生存することが否であると思えば、私は、死んでもいいのである』

『ウ』と彼はうなづいた。そして礼は何も言つてくれはしなかった。いきなり飛び出してしまひ、買つてくると、腹ばいになってA・B・Cをつけてから、いつまでも赤ん坊のようにその辞書をなめまわす無邪気だった。さてさてこれは大きい我がままなアカチャンだ、と私はもうその時にはつきり思つた。

邪気だった。さてさてこれは大きい我がままなアカチャンだ、と私はもうその時にはつきり思つた。数え切れない彼の奇行：周期的にやってくるヒポコンドリア：下駄にか

西崎花世の『恋愛及び生活活難について』という文章を読んで感激した22歳の彼は、4歳年上の彼女と結婚した。大正6年に『靈魂の秋』、翌年に『感傷の春』を刊行。純情な魂の苦

僕らの生涯もいよいよここまで来たのだと考えると、実に不思議な朗らかな寂しさを感じる。今、神戸に船が着く。相客のいないうちにと急いで書く。さらば幸福に、力強く生きて下さい。僕はあなた

『杉本武之プロフィール』1939年、碧南市に生まれる。京都大学文学部卒業。翻訳業を経て、小学校教師になるために愛知教育大学に入学。25年間、西尾市の小中学校に勤務。定年退職後、名古屋大学教育学部の大学院で学ぶ。『趣味・読書と競馬』

昭和三十五年常滑西小学校二年二組(ごろんご) 氏原朝信 (325)

2月18日(水) H・孝子◎ 国語でまわりの人のことのお母さんは魚売り」を読んで高山京一くんみたいにならなうに書いてもらいたいなあと心の中で思っていました。

1月24日(土) W・英隆◎ 社会のテストをやつて70点なので、お母さんに「70点とった」と言つたら、お母さんは「えらかつたね」と言いました。でも、こんどとつとよい点をとりたいたいです。

2月7日(土) M・雅美◎ 2月7日(土) M・雅美◎ 一時間目の国語でかん字の絵あそびみたいにな

『料理研究家 長澤晶子のSPEED★COOKING!』 簡単! 油揚げの甘煮

◎常滑市民文化会館 ホール

◎常滑市民文化会館

◎たごめ陶の森 陶芸研究所

この指とまれ (325) 氏原朝信

昭和三十五年常滑西小学校二年二組(ごろんご) 氏原朝信 (325)

2月18日(水) H・孝子◎ 国語でまわりの人のことのお母さんは魚売り」を読んで高山京一くんみたいにならなうに書いてもらいたいなあと心の中で思っていました。

1月24日(土) W・英隆◎ 社会のテストをやつて70点なので、お母さんに「70点とった」と言つたら、お母さんは「えらかつたね」と言いました。でも、こんどとつとよい点をとりたいたいです。

2月7日(土) M・雅美◎ 2月7日(土) M・雅美◎ 一時間目の国語でかん字の絵あそびみたいにな

『料理研究家 長澤晶子のSPEED★COOKING!』 簡単! 油揚げの甘煮

◎常滑市民文化会館 ホール

◎常滑市民文化会館

◎たごめ陶の森 陶芸研究所

◎知多市子ども未来館

大阪屋リビング 常滑北 大阪屋葬祭 TEL0569-35-4949

知多の新鮮たまご 発酵ケイフン (有)知多エッグ

わが家のニューフェイス



岡田悠那(7才) 麻那(2才8ヶ月) 武豊町

愛とMy Family



赤井頼斗(4才6ヶ月) 常滑市

写真・文	い	と	い	そ	ま	ッ	ー	を		手	ち	い	い
お	も	も	ん	す	か	パ	も	に		ご	ち	も	も
か	う	あ	で	。い	っ	ー	っ	っ	ご	が	ご	う	う
田	と	る	い	え	て	い	て	て	い	り	が	の	の
ゆ	と	け	て	の	ー	ち	う	う	っ	に	大	ま	ま
な	も	ん	も	中	い	ご	れ	れ	ば	い	す	な	な
(純)	か	か	わ	で	っ	を	し	し	い	っ	き	は	は
	わ	す	い	も	っ	見	そ	そ	っ	た	。い	。い	。い
	い	い	い	わ	っ	つ	う	う	。い	。い	。い	。い	。い
	い	い	い	た	っ	け	だ	だ	。い	。い	。い	。い	。い
	い	い	い	し	っ	る	っ	っ	。い	。い	。い	。い	。い
	い	い	い	の	っ	と	た	た	。い	。い	。い	。い	。い
	い	い	い	あ	っ	い	よ	よ	。い	。い	。い	。い	。い
	い	い	い	と	っ	っ	。い	。い	。い	。い	。い	。い	。い
	い	い	い	を	っ	っ	。い	。い	。い	。い	。い	。い	。い
	い	い	い	つ	っ	っ	。い	。い	。い	。い	。い	。い	。い

写真・文	と	ど	に	ん	て	帰	初	笑		保	育	園	に	通
赤	マ	ほ	も	の	い	っ	め	顔		育	園	に	通	い
井	マ	し	桃	苦	ま	て	て	で	園	に	通	い	始	
文	に	い	戦	学	ま	歌	の	で	に	通	い	始	め	
宣	し	と	し	が	だ	っ	集	。い	。い	。い	。い	。い	。い	
知	て	思	て	あ	。い	っ	団	。い	。い	。い	。い	。い	。い	
美	く	い	、	る	。い	。い	生	。い	。い	。い	。い	。い	。い	
	れ	ま	色	と	。い	。い	活	。い	。い	。い	。い	。い	。い	
	て	あ	は	思	。い	。い	に	。い	。い	。い	。い	。い	。い	
	あ	り	経	り	。い	。い	も	。い	。い	。い	。い	。い	。い	
	り	が	験	け	。い	。い	慣	。い	。い	。い	。い	。い	。い	
	と	と	を	い	。い	。い	れ	。い	。い	。い	。い	。い	。い	
	り	り	続	、	。い	。い	、	。い	。い	。い	。い	。い	。い	
	。い	。い	ん	何	。い	。い	家	。い	。い	。い	。い	。い	。い	
	。い	。い	。い	事	。い	。い	に	。い	。い	。い	。い	。い	。い	

健康管理は新聞配達で!

新聞配達員

大募集

朝刊配達員

月給 (配達部数による)
30,000~70,000円

勤務時間
AM3:00~
AM6:00内で
ご希望の1時間程度

勤務日数
週2日~OK

スマホからのお問合せは
コチラ!



訪問集金でお支払いの
購読者の皆様へ

口座自動 振替払いに 切り替えませんか?



口座振替にすると
お支払いがラクラクあんしん!

メリットたくさん!

- 毎月決まった日に引き落とされるからお金の管理がラク!
- 忙しい時間に手間を取らない!
- 不要な対面を避けられる!

ご利用可能な金融機関

JAバンク・三菱UFJ銀行・ゆうちょ銀行・半田信用金庫・知多信用金庫・西尾信用金庫